

見学レポート：大池地域子ども教室

「大池インパルス 防災キャンプ」

2026.8.17(月)-18(火)

8月17日、18日に大池小学校で実施された「大池防災キャンプ」を見学しました。

今回のキャンプには17名の児童が参加し、さまざまな防災体験が行われていました。

消防団員の皆さんによる消火器・AED体験やポンプ車の見学では、子どもたちが実際に器具に触れながら、災害時に必要な知識や行動について学ぶ様子が見られました。

校内に設置されている防火設備やAEDを探す活動では、「こんなところにもあるんだ」と驚きながら、学校の防災設備について理解を深めていました。



避難所の開設を疑似体験する防災シミュレーションゲームでは、参加者がグループに分かれ、避難所運営を想定したさまざまな課題に取り組んでいました。

限られた備蓄品をどのように分配するか、高齢者や乳幼児連れの方、体調の優れない方など、多様な避難者にどのような配慮が必要かを話し合いながら、避難所で起こりうる状況への対応を考えていました。



子どもたちは自分の意見を積極的に話すだけでなく、友達の考えにも耳を傾けながら議論を進めており、「みんなが安心して過ごすにはどうしたらよいか」を真剣に考える様子が印象的でした。ゲームを通して、災害時には一人ひとりが協力し合い、支え合うことの大切さを学んでいました。

夕食にはレトルトカレーとパックご飯が用意され、避難所での食事を体験することで、災害時の生活をより身近に感じる機会となっていました。

そのほか、消防局職員の方より、令和6年能登半島地震および奥能登豪雨の被災地へ応援派遣された際の体験談が紹介されました。実際の被災地での経験をもとにしたお話に、子どもたちは真剣な表情で耳を傾けていました。



学校での宿泊やさまざまな体験活動を通して、参加した子どもたちにとって、防災について「自分ごと」として考える貴重な機会になっていると感じました。楽しみながら学ぶ中で、災害への備えの大切さや自分たちにできることへの理解を深める、有意義な防災キャンプとなっていました。

「まなびリンク×大池インパルス（大学生からの挑戦状に参加）」

2026.8. 18(火)

防災キャンプ後、「大池地域子ども教室」と「まなびリンク」がタッグを組み、大池小学校前にある「マラサダドーナツのお店」のポップ作りを行いました。

「まなびリンク」は豊中市にゆかりのある大学生が主体となって、子どもたちのサポートを行う団体です。今回作成したポップは、8月22日(土)に開催される大池夏祭りの露店で展示されるほか、一部は通常の店舗にも掲示されます。

当日は約40名の子どもたちが参加し、5～7人の班に分かれてどのようなポップにするか作戦会議を行いました。意見が分かれる場面もありましたが、全員の意見がうまく反映されるよう話し合いを重ねていました。



作戦会議の後は、マジックペンや色画用紙、のり、はさみを使ってポップ作りに取り掛かりました。吹き出し作りや色塗りなどを班のメンバーで分担しながら進め、約40分間、真剣に制作していました。マラサダドーナツを食べた感想や写真を参考にしながら、より良いポップにしようと試行錯誤する姿が印象的でした。

ポップ作りが終わった後は、子どもたちからは、「同じポップを作っているのに、完成が全然違って、それぞれの個性が出ているな」と思い楽しかった」「班のみんなが初対面だったので不安だったけれど、良い作品ができてよかった」といった感想が聞かれ、達成感あふれる笑顔を見せていました。

<ポップの完成品>

